

お手入れ方法

- 日頃のお手入れはハタキやハンドモップ等でほこりを落としてください。
- 強い水圧をかけたお手入れは行わないでください。製品の破損や落下の原因となります。
- 2階以上の高所でのお手入れには十分周囲に注意をして行ってください。製品の落下、作業者の落下など、重大な事故につながる恐れがあります。
- スクリーンは特殊樹脂加工されていますので折ったり曲げたりするとシワやクセが残りもとに戻らない場合がありますので十分注意してください。

梱包材の処理方法

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

トソー株式会社

本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-4-9

◎お客様相談室 **tel. 03-3552-1002**

ホームページアドレス <http://www.toso.co.jp>

TOSO

80004594

外付け用ロールスクリーン

マイテックアウター

交換スクリーン

取扱説明書 No. R-150037

初版

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございました。
安全にご使用いただくために良くお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されております。必ずお客様にお渡しください。

目次

■ 安全上のご注意	2
■ スクリーンの取外し方法	4
■ 交換用スクリーンの取付け方法	7
■ スクリーン巻きずれ対処方法	10
■ スクリーンの昇降スピードの調整方法	11
■ メンテナンスシール	11
■ お手入れ方法	12
■ 梱包材の処理方法	12

安全上のご注意(必ずお守りください)

※本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願い致します。

- 本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。



注意

製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

- 本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。



製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。



製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

■取付け上のご注意(取付け前に必ずお読みください)



警告

- 製品(マイテックアウター) 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。
- !製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取付けていない場合は落下の原因になります。
- !木ネジの取付け位置は下地や外装材の端部にならない様に取付けてください。
- !施工後、各部品の締め忘れや、ゆるみがないか良く確認してください。
- !2階部分など高所への取付けの場合は、足場の設置など安全に施工する様注意ください。
- !製品(マイテックアウター) の取扱説明書に記載されているブラケットの取付け位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。



注意

- !製品は、水平に取付けてください。
- 建物の屋根雪が直接落下してくる場所には取付けしないでください。

■使用上のご注意(ご使用前に必ずお読みください)



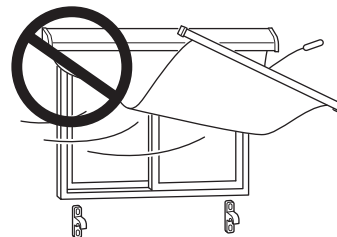
警告

- 製品に物を乗せたり、吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。
- 急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品の落下や、破損などの恐れがあります。
- !2階以上の高所に取付けられた製品を操作する際は、十分に注意の上、窓から身を乗り出したりせずに操作してください。

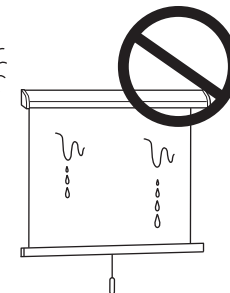


注意

- 風が吹いている時は必ずスクリーンを巻き上げて本体に収納してください。スクリーンが風にあおられて、製品が破損する恐れがあります。
- メカ部の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。
- 火のそばでの使用は絶対におやめください。



- !長時間の雨、大雨や降雪の時やそれが予測される場合は、必ずスクリーンを巻き上げてください。
- !雪や落ち葉がスクリーンに付着してしまった場合、これらを必ず除去してから、スクリーンの巻き取りを行ってください。そのまま巻き取ると、スクリーンや本体の破損や故障の原因になります。



- 必ずプルコード、またはウエイトバーを持って操作を行ってください。スクリーンやローラーパイプを持って操作を行わないでください。
- 開閉動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。
- !製品は決められた製品高さの範囲でご使用ください。範囲以上でご使用になると、スクリーンの落下、破損の原因になります。

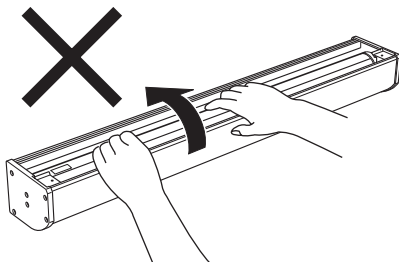
スクリーンの取外し方法



注意

- ❌ スクリーンを外した状態でローラーパイプを矢印の方向に少し回すと、ストッパーが解除され、パイプが自動的に逆回転し、スプリングの設定(初巻き)が解除されてしまいます。スクリーンを外してから取付けるまでパイプを回さないように注意してください。

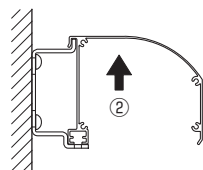
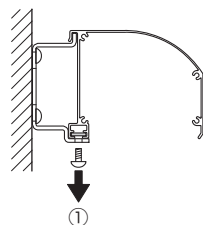
※スプリングの設定(初巻き)が解除された場合は、P.11「スプリングの調整方法」に従って、再調整してください。



■スクリーンの取外し方法

① 製品を取外してください。

ヘッドボックス下部のゆるみ防止ネジを取外してください(①)。ヘッドボックス本体を持ち上げ(②)、ブラケットから取外してください。



注意

- ❗ ブラケットから製品を取外す際は、必ず手で支えながら作業してください。

② ノンクラッチ式の場合は、初巻き解除の設定を行ってください。

※クラッチ式/ガイドワイヤー仕様の場合は、③に進んでください。

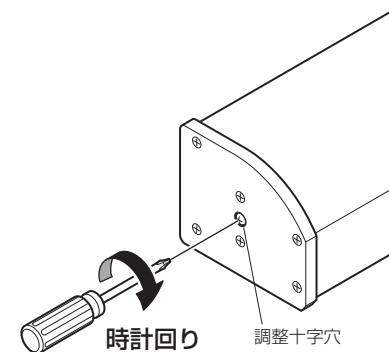
〈初巻き解除の設定方法〉



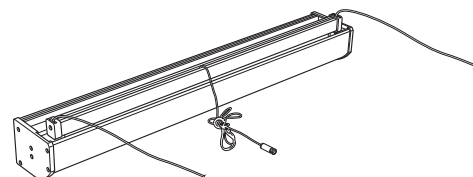
注意

- ❗ ノンクラッチ式の場合、ローラーパイプに搭載されてるスプリングの影響でスクリーンの取付け/取外しが難しくなります。無理なスクリーン交換は怪我や商品の故障につながる恐れがあります。必ず初巻き解除の設定を行ったうえでスクリーンの取付け/取外しを行ってください。

- ① ④ドライバー#2(製品に付属されておりません)で調整十字穴を時計回りに回してください。
- ② 20回程度回した後、スクリーンをすべて引き出し、巻き戻りがなければ解除完了となります。巻き戻り場合、調整十字穴をさらに数回時計回りに回して解除してください。
- ③ 初巻きが完全に解除できましたら、次の作業に進んでください。

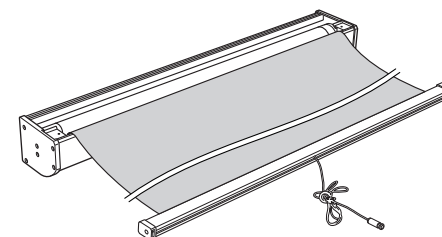


③ 本体を図のように置いてください。



クラッチ式/ガイドワイヤー仕様

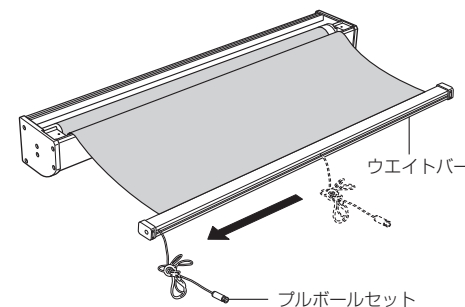
※この時点で、スクリーンは引き出されていない状態です。



ノンクラッチ式

※この時点で、スクリーンは全て引き出されている状態です。

④ プルボールセットをスライドさせ、ウェイトバーの端へ寄せてください。



- ⑤ スクリーンをウエイトバーに巻きつけてください。

※ 巻きつける際、プルボールセットをスクリーンに巻き込まないように注意してください。

〈クラッチ式/ガイドワイヤー仕様の場合〉

- ① スクリーンを少し引き出しストップさせてください。
- ② 引き出したスクリーンをウエイトバーに巻きつけてください。
- ③ ローラーパイプが露出するまで①、②を繰り返し行ってください。

※ クラッチ式/ガイドワイヤー仕様の場合、スクリーンがストップしていない状態で手を離すとスプリングが巻き取られてしまいますのでご注意ください。

〈ノンクラッチ式の場合〉

- 引き出されているスクリーンをウエイトバーに巻きつけてください。

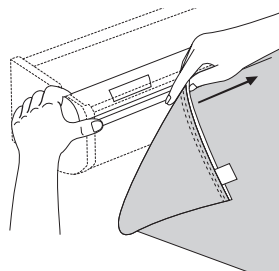
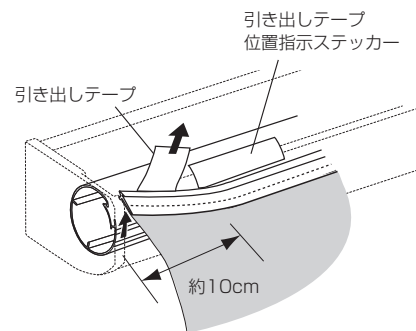
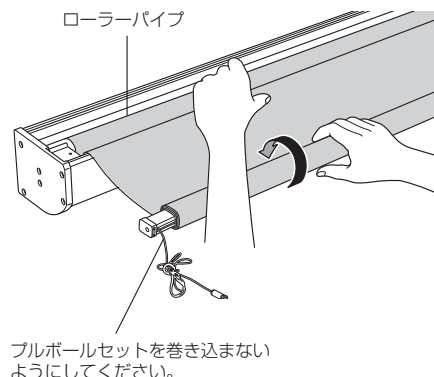
- ⑥ スクリーンをローラーパイプから取外してください。

※ クラッチ式/ガイドワイヤー仕様の場合、スクリーンが巻き戻らないようにストッパーがかかっていることを確認してください。

- ① 引き出しテープを持ち上げ、スクリーンを約10cm位引き出してください。

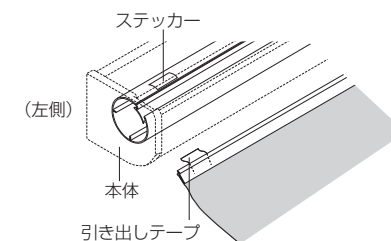
- ② スクリーン上端の白い樹脂部分とローラーパイプの間に指をはさみ、そのままスライドさせてスクリーンを外してください。

※ 取外したスクリーン本体を再度お使いいただく場合は、交換用スクリーンが入っていた梱包材などを使い、大切に保管してください。

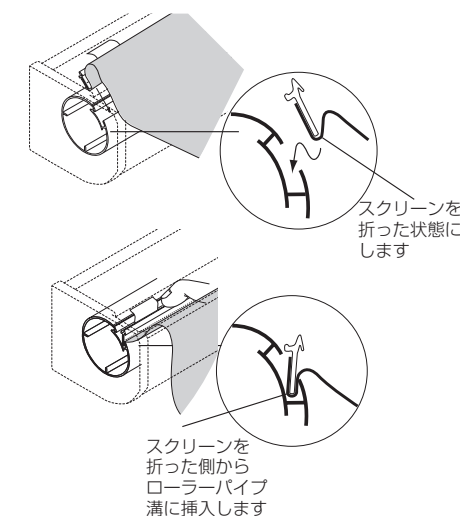


交換用スクリーンの取付け方法

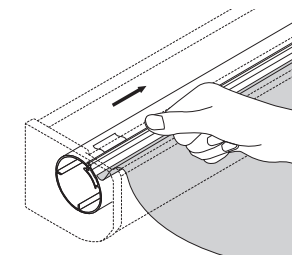
- ① ステッカーの位置が左側にくるように本体を置き、引き出しテープが左側にくるようにスクリーンを本体の手前に置いてください。



- ② スクリーンを図のように折った状態でスクリーン上部の白い樹脂部分をローラーパイプの溝に差し込んでください。



- ③ 右方向へ指をスライドさせながらスクリーンを取付けてください。



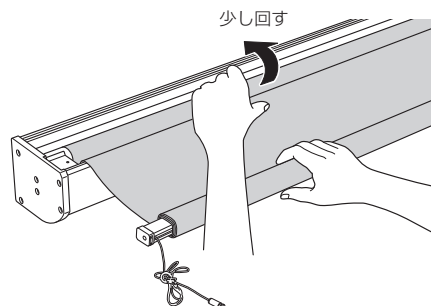
- ④ スクリーンをローラーパイプに巻き取ってください。

※ クラッチ式/ガイドワイヤー仕様とノンクラッチ式とでは巻き取り方法が異なります。ご注意ください。

※ クラッチ式/ガイドワイヤー仕様の場合でもクラッチが解除されてしまった際には、ノンクラッチ式の巻き取り方法を適用してください。

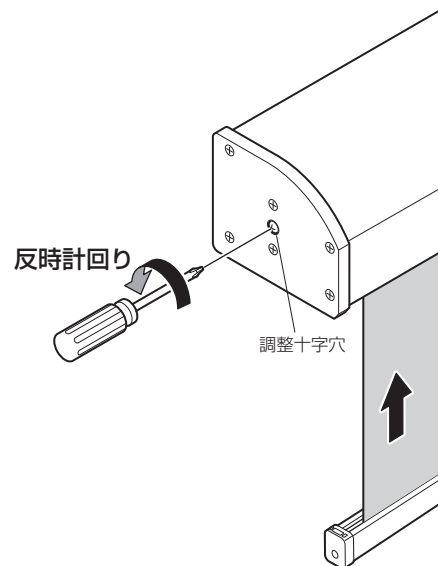
〈クラッチ式/ガイドワイヤー仕様の場合〉

- ローラーパイプを矢印の方向に少し回すと、ストッパーが解除され、自動的にスクリーンがローラーパイプに巻かれます。スクリーンが巻きあがる際はローラーパイプが高速で回転しますのでローラーパイプを手を持ってブレーキをかけながらスクリーンを巻き取ってください。

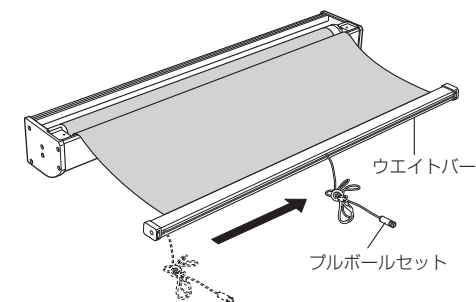


〈ノンクラッチ式の場合〉

- ① ⊕ドライバー#2（本体に付属されていません）で調整十字穴を反時計回りに回し、スクリーンを最後まで巻き取ってください。
- ② スクリーンを巻き上げた後、スプリングの調整を行ってください。⊕ドライバー#2で調整十字穴を反時計回りに10回程度回してください。スプリングが弱い、あるいは強すぎる場合は、P.11の「スプリングの調整方法」に従って調整してください。

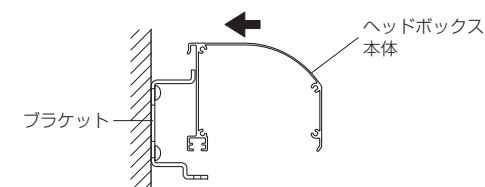


- ⑤ プルボールセットをスライドさせ、ウエイトバーの中央にセットしてください。

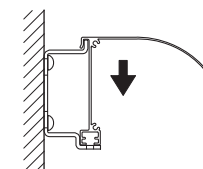


- ⑥ 本体を取付けてください。

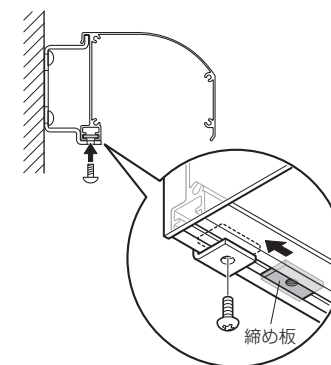
- ① ヘッドボックス本体の背面にブラケットを当ててください。



- ② ヘッドボックス本体を真下に降ろし、ブラケット上部の突起をヘッドボックス上部の溝に差し込んでください。



- ③ ヘッドボックス下溝内に入っている締め板をブラケット位置に移動し、付属のゆるみ防止ネジでヘッドボックスとブラケットを固定させてください。

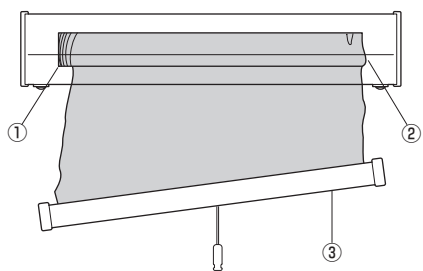


スクリーン巻きずれ対処方法

- スクリーンが巻きずれていると、スクリーンを昇降できなくなったり、スクリーンが破損(しわ、やぶれ等)する恐れがあります。出荷時に、調整をしてありますが、取付け場所の関係等により、巻きずれが発生した場合は、以下の手順で巻きずれを補正してください。

〈スクリーンが巻きずれた状態とは？〉

- ①スクリーンが「竹の子」状になる。
- ②スクリーンがサイドホルダーセットに当たる。
- ③ウエイトバーが左右均等(水平)にならない。

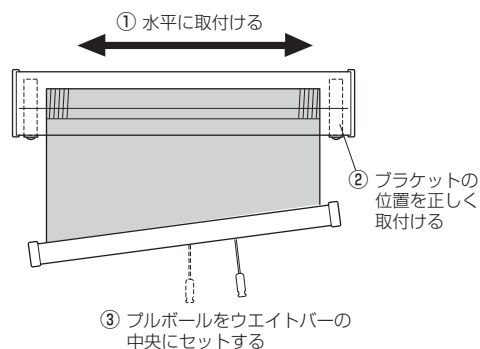


■巻きずれの補正方法

- ①まず製品が正しい状態になっているか確認します。

- ①製品が水平に取付けられているか？
- ②ブラケットが正しい位置に付いているか？
- ③プルボールがウエイトバーの中央にセットされているか？

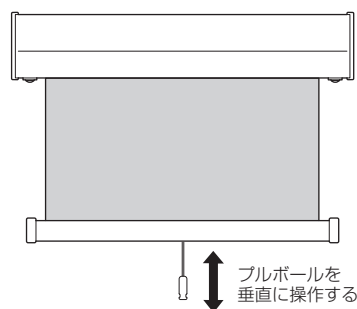
※正しくない場合は、正しい状態に直してください。



- ②プルボールを垂直に引いて、スクリーンを下まで引き出して止め、さらに3～4cm下に引き手を離してスクリーンを巻き上げてください。

- ③②の昇降操作を2～3回繰り返してください。それでも巻きずれが直らない場合は、付属の巻きずれ調整シールを使って巻きずれを直してください。

※巻きずれ調整シールの使用法は、調整シールの裏面をご覧ください。



スクリーンの昇降スピードの調整方法

※スクリーンが巻き上がらない場合やスピードが極端に遅い場合にスプリングの調整を行ってください。

⚠ 注意

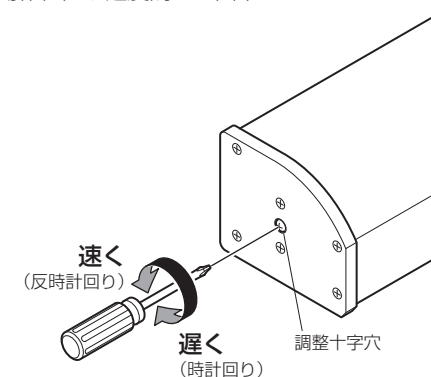
- ⊘スプリングの調整を行う場合は、スピードを確認しながら調整を行ってください。過度にスプリングを強くしますと破損の原因になります。

- 本製品は、出荷時にスプリングの調整を完了しておりますが、スクリーンの巻き上げスピードの微調整を行いたい場合やスクリーン着脱時にスプリングの設定(初巻き)を解除してしまった場合に調整を行ってください。

※本製品は、スクリーンが完全に巻き上がる前に一旦ブレーキがかかりその後ゆっくり巻き上がる『スローストップ機能』が標準装備されておりますがその動作位置や速度調整は出来ません。

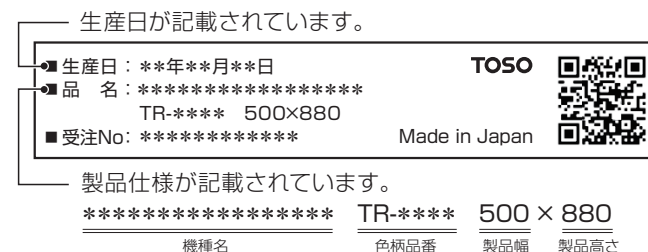
■スプリングの調整方法

- ⊕ドライバー#2(製品に付属されていません)で調整十字穴を回し調整を行ってください。
- ・時計回りに回すと巻き上げスピードが**遅く**なります。
- ・反時計回りに回すと巻き上げスピードが**速く**なります。



メンテナンスシール

- お買い上げ製品には、製品情報を記載したメンテナンスシールを同梱しております。製品に関するお問い合わせや修理等の際にこのメンテナンスシールをご確認ください。メンテナンスシールは、台紙に貼付された状態で本取説にテープ止めされています。なくさないよう大切に保管してください。



- メンテナンスシールにQRコードが印刷されている場合は、QRコード対応の携帯電話で撮影すると携帯サイトにアクセスでき、製品情報を入手することができます。

※シール設置場所・QRコードへの汚れ・破損などにより、読み取れない場合もございますのでご注意ください。